

四国産官学連携イノベーション 共同推進機構



2012（平成24）年度に採択された国立大学改革強化推進事業「四国5大学連携による知のプラットフォーム形成事業」の一つとして、2013（平成25）年10月に「四国産官学連携イノベーション共同推進機構」（以下、SICOという）が発足した。四国の5国立大学（徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学）における産学連携・技術移転業務の統合・一元化を行い、大学の枠を越えて実施することで、各大学単体で実施するよりも質・量ともに充実させ、利用しやすく、機能的な産官学連携体制の構築を行っている。

代表的な取組みとして、大学、企業、公的機関等の研究成果、研究設備及び人材の情報を効率的に活用することが可能な5大学共通の情報システムである「産学連携支援マッチング情報システム」を構築し、2014（平成26）年11月より、システムを稼働、サービスを開始した。利用した企業との共同研究を増加させる等の産官学連携活動を促進し

ている。また、研究シーズの展示会・新技術説明会に5国立大学で共同して出展することにより、各大学が個々に行う場合に比べ、企業へのアピール力を向上でき、参加者の増加に繋がっている。さらに、産学連携、教育・研究上の共通業務の効率化・高度化を図ることを目的に、5大学共通の英文契約書雛形、運用マニュアルを作成・運用し、外国企業等との契約締結を行っている。

文部科学省の補助事業としては2017（平成29）年度で終了したが、継続して事業を実施中であり、基幹大学である徳島大学に機構長と副機構長、各大学にSICO担当教員が配置されており、一体的に業務に取り組んでいる。四国の5国立大学には高度な知的財産や技術があり、大きなビジネスチャンスとなりえる産業の種をたくさん持っている。新たな技術や研究成果を欲している企業と大学を繋ぎ、新事業を創出することで研究成果を活用し、大学の研究の活性化と地域社会の発展を目指している。

